

自治医科大学

令和2年度アクションプラン



本アクションプランは、本学として当面重点的に取り組むべき項目についてまとめたものである。本学関係者が方向性について認識を共有し、業務の指針とするとともに、機会に応じ対外的な発信にも活用することとする。

I 共通

① 卓越した学生、教職員の確保

- ・ 広報活動の充実による志願者の確保
- ・ 優秀な学生を確保するための対策の強化
- ・ 都道府県の教育委員会及び地域医療担当部局への医学部受験促進のための働きかけの強化

② 卒業生との連携強化

- ・ 先端医療技術の研修機会の提供
- ・ e-learning の提供や臨床研究支援センターによる臨床研究と論文作成の支援
- ・ 看護職のキャリア形成支援
- ・ 医学部卒業生都道府県人会との連携強化

③ 戦略的広報の推進

- ・ マスコミへの教育研究診療に関わる情報提供の推進

④ 内部管理の充実・改善

- ・ ハラスメント対策の充実強化
- ・ e-learning 手法の更なる積極的展開
- ・ 事務手続きの合理化
- ・ RPA (Robotic Process Automation) 導入による定型作業の自動化

⑤ 看護師特定行為研修センターの円滑な運営

- ・ 研修生の安定的な確保

⑥ 臨床研究の品質・信頼性の向上

- ・ 臨床研究中核病院申請のための実績の確保
- ・ 臨床研究法に基づいた適正な認定臨床研究審査委員会の運営

⑦ 新専門医制度に係る研修プログラムへの対応

- ・ 義務年限内に取得できるよう卒業生への支援
- ・ 積極的な広報活動による専攻医の確保

⑧ 先端医療技術開発センターの共同利用拠点・共同研究拠点としての安定的・継続的な活動

- ・ 学外の研究者及び教育者の利用促進

⑨ 経営改善に関する取組の強化（附属病院及び附属さいたま医療センターの取組はIV及びV参照）

- ・ 徹底した経営改善の取組による損益収支の改善
- ・ 予算執行における施設・設備整備費の抑制と管理経費等のさらなる削減
- ・ 寄附金、公的研究費等の外部資金獲得の促進

⑩ 教職員の就労支援

- ・ 認可外保育施設の整備

II 医学部・医学研究科

1 地域医療に貢献する人材の育成

- ① 基礎・臨床教育改革等を盛り込んだ新カリキュラムの確実な実施、学習支援の強化等による高い進級率や共用試験・国家試験合格率の維持
- ② 「国際的な地域医療教育の構築プログラム」等による先進的な学部教育の推進
- ③ 国際基準に基づく医学教育分野別評価受審結果に基づく継続的改良

2 地域社会のリーダーたりうる人材の養成

- ① リベラルアーツ教育を重視した新カリキュラムの実施等による「学び続ける力」の涵養
- ② 生活・倫理指導の強化等による豊かな人間性の涵養
- ③ 医学研究科における地域社会を牽引するリーダー養成に向けた取組

3 国際的成果を目指した研究・地域医療に役立つ研究の活性化

- ① 大学院の活性化
- ② 臨床研究支援センターの活動充実による臨床研究の推進
- ③ 基礎研究及びトランスレーショナルリサーチの推進
- ④ 人工知能（AI）による総合診療診断支援システムの活用
- ⑤ オープンイノベーションセンターを中心とした産学連携の推進
- ⑥ 各種公募情報等の収集・競争的資金獲得のためのセミナー開催等による科研費等外部資金の積極的導入
- ⑦ 画期的研究成果等地域医療に役立つ技術・知識の積極的発信

4 研究者倫理の徹底と医療倫理・生命倫理等の順守

- ① 国の対応等を踏まえた研究不正防止対策の強化
- ② 研修の徹底等による諸規制の確実な順守

5 教育を支える環境の整備

- ① 収容定員増に伴う学生寮の増設
- ② FD活動のさらなる充実による教育力の向上
- ③ 電子シラバスの導入に向けた検討の推進

III 看護学部・看護学研究科

1 高度医療・地域での看護に従事できる総合的な看護職の育成

- シミュレーション教育との連動による演習・実習教育のさらなる充実

2 地域包括ケアのリーダー及び優秀な教育研究者の育成

- 博士課程の教育強化、附属病院看護職を始めとした看護職の人材育成・研究活動支援等による高度実践看護職や看護の教育研究者の育成

3 国際的視野を持った人材の育成

- 多文化理解・情報リテラシー・倫理的側面に関する教育充実等による保健・看護の分野で国際的視野を持った人材の育成

4 教育を支える環境の整備

- ① 学生支援・学生相談の体制充実
- ② FD活動のさらなる充実による教育力の向上

5 臨床研究等の推進

- ① 附属病院看護職等との臨床研究の推進
- ② 「日本型地域ケア実践開発研究事業」（平成25～29年度）で開発したICTを活用した教育・支援システム及びトレーニングプログラムの活用と精錬
- ③ 競争的資金獲得を含めた研究推進体制の強化

IV 附属病院

1 病院の経営改善及び効率化

- ① 診療科ごとの医薬材料費等の経費・経営情報の可視化と経費削減等の経営改善に向けた取組
- ② 働き方改革及び医療制度改革に対応した戦略的な人員配置
- ③ 経営目標の設定と経営指標の情報共有
- ④ 手術実施体制の高度化と効率化
- ⑤ 共用床及び空き病床の効率的運用による医療供給体制及び病院経営の向上
- ⑥ DPC係数増加に向けた取組
- ⑦ 未収金の低減

2 医療の質の向上と高度先進医療の追求

- ① 高度急性期医療の提供と充実
- ② チェック体制の強化及び部門間連携による医療安全確保体制の強化
- ③ 医療倫理遵守の徹底及び高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等を用いた医療の適正な提供
- ④ 特定機能病院としての臨床研究、特定診療行為、先進医療、高難度医療等の推進
- ⑤ クオリティインディケーターの充実

3 働き方改革をふまえた働きやすい職場の構築

- ① 医師・看護師を含めた医療職員の業務負担軽減を実現するための新たな勤務体制・労務管理制度の円滑な運用
- ② 働き方改革をふまえた特定行為看護師の育成・活用、医師事務作業補助者の充実、タスクシフティング及びタスクシェアリングの推進
- ③ 職場環境の充実と向上

4 人材の安定的確保等

- ① 研修医のフルマッチの実現並びに優秀な専門医、専攻医の確保

- ② 特定行為看護師、認定看護師等の育成及び適正な配置
- ③ 自己研鑽・キャリア形成のための教育・研修体制及び資格取得支援制度の強化

5 患者満足度の向上

- ① 入退院支援室の充実による入退院手続き等の改善及び退院支援
- ② 患者待ち時間の短縮及び待合環境の改善

V 附属さいたま医療センター

1 センターの経営改善及び効率化

- ① 診療科ごとの医薬材料費等の経費・経営情報の可視化と経費削減等の経営改善に向けた取組
- ② センターの特色ある診療体制の構築
- ③ 各種データ集約と適正な分析実施による問題点や課題の可視化
- ④ 需要を見極めつつ、診療実績に応じた柔軟な病床配分の実施
- ⑤ 手術室の効率的運用の実施
- ⑥ 医療連携協力施設認定制度を活用した病診連携の推進と地域連携パスの拡充
- ⑦ DPC係数増加に向けた取組
- ⑧ 未収金の低減

2 医療の質の向上と高度先進医療の追求

- ① 高度急性期医療の提供と充実
- ② カルテ、サマリーの適切な管理の徹底とインシデント報告の分析による不安全行動につながるリスク削減
- ③ 業務従事者に対する能力向上教育の実施
- ④ 特定行為の安全な実施と専門職としての知識・技術の向上
- ⑤ 共同研究・受託研究等の推進
- ⑥ クオリティインディケーターの充実

3 働きやすい職場環境の形成

- ① 特定行為看護師及び診療看護師の活用、医師事務作業補助者の充実、タスクシフティング及びタスクシェアリングの推進
- ② RPAなどの技術活用による業務の効率化と高度化の推進
- ③ 業務従事者に対する能力向上教育の実施

4 人材の安定的確保等

- ① 優秀な研修医、専門医、専攻医の確保
- ② 特定行為看護師、認定看護師等の育成及び適正な配置
- ③ 自己研鑽・キャリア形成のための教育・研修体制の強化

5 患者満足度の向上

- 患者サポートセンター発足と入院前からの社会復帰支援